櫛田川水系　内外水統合型の浸水想定図（1/10規模降雨）
【現況河道】

1．説明文

（1）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1／ 10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／10（10%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

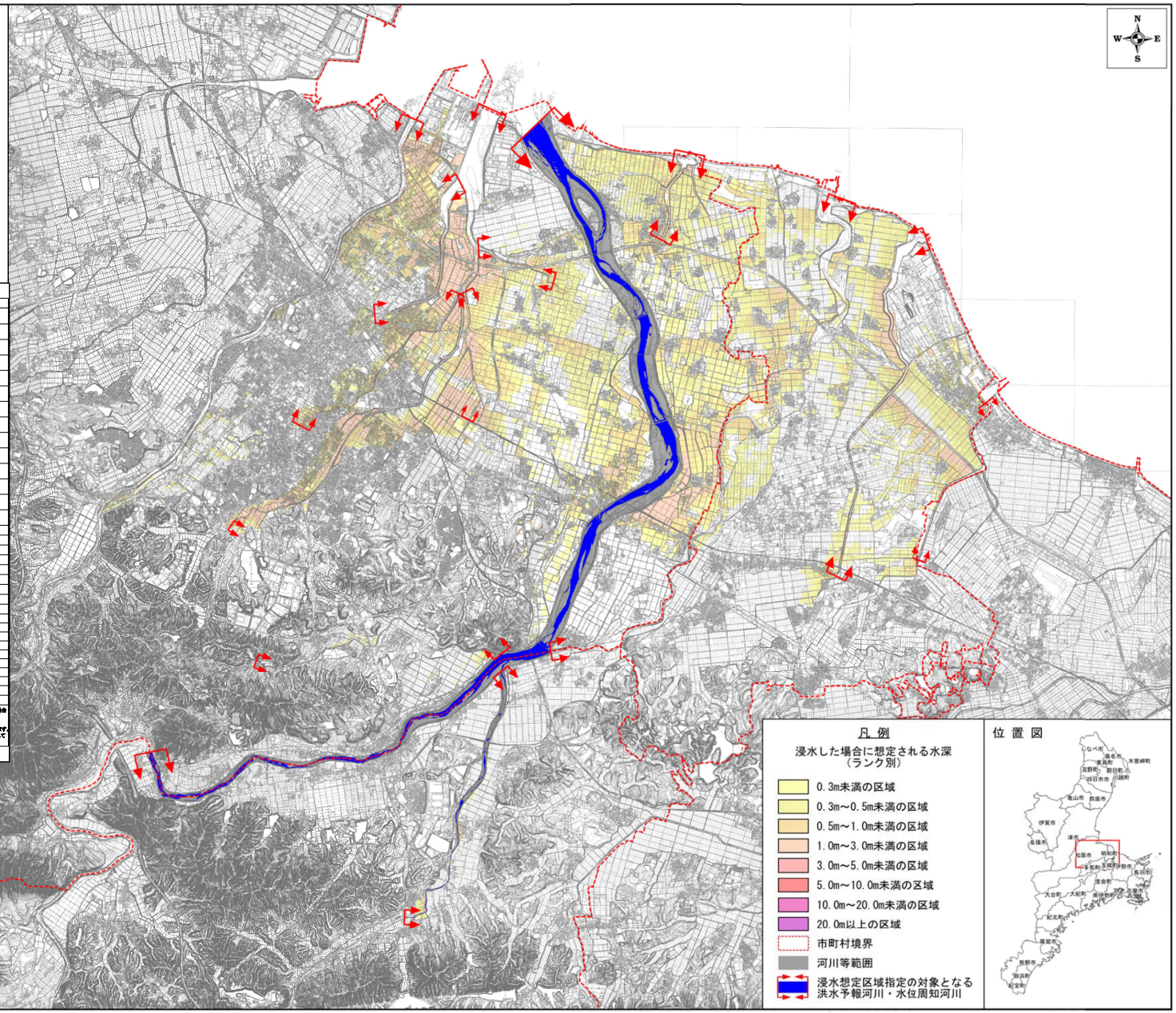
（2）この浸水想定図は、現況の櫛田川流域（一部、阪内川・笹笛川・金剛川・中川・大堀川流域含む）の河道、洪水調節施設及び雨水排水施設の整備状況を勘案して、年超過確率 1／10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／10（10%））の降雨に伴う洪水により櫛田川流域（一部、阪内川・笹笛川・金剛川・中川・大堀川流域含む）の河川・下水道が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、高潮による氾濫を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定範囲内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
　また、下水道からの氾濫は、佐奈川川排水区、孫川排水区、阪内川排水区、金剛川排水区、中川排水区、祓川排水区、笹笛川排水区、大堀川排水区を考慮していますが、雨水出水浸水想定区域図とはシミュレーション条件が異なるため、雨水出水浸水想定区域図とは異なる浸水範囲・浸水深・浸水継続時間となっています。なお、このシミュレーションは、櫛田川水系河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（櫛田川：昭和57年8月型、佐奈川：中央集中型）や三重県洪水浸水想定区域図検討時の計画規模での降雨波形、各河川流域・下水道排水区域の特性・被害リスク等に基づいて設定した降雨波形等を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2．基本事項等

（1）	公表年月日	令和8年3月31日	
（2）	作成を行及び対象となる河川	作成主体：国土交通省中部地方整備局及び河川国道事務所 対象河川：櫛田川、佐奈川、祓川、金剛川、阪内川、笹笛川、大堀川、孫川、中川	
（3）	高浸水区域（左記河川のみ記載）	櫛田川水系櫛田川	北端：三重県松阪市飯南郡宮町字小小林地先から北へ 右端：三重県多気郡多気町佐奈川地内地先から西へ
		櫛田川水系佐奈川	北端：三重県多気郡多気町仁田字仁田1107番の1地先の国道166号から櫛田川への合流点まで 右端：三重県多気郡多気町仁田字仁田1107番の1地先の国道166号から櫛田川への合流点まで
		櫛田川水系祓川	北端：三重県松阪市嬉遊森町字荒蒔から西へ 右端：三重県多気郡多気町佐奈川地内字相谷ノ坪から西まで
		櫛田川水系孫川	北端：三重県松阪市嬉遊森町字荒蒔から西へ 右端：三重県多気郡多気町佐奈川地内字相谷ノ坪から西まで
		阪内川水系阪内川	北端：三重県松阪市宮川内町字西内から西へ 右端：三重県松阪市宮川内町字小西から西まで
		笹笛川水系笹笛川	北端：三重県多気郡明和町大字竜宮から西へ 右端：三重県多気郡明和町大字竜宮から西まで
		金剛川水系金剛川	北端：三重県松阪市山室町字鍋谷から西へ 右端：三重県松阪市山室町字鍋谷から西まで
		金剛川水系金剛川	北端：三重県松阪市嬉遊森町字荒蒔から西へ 右端：三重県松阪市嬉遊森町字小西から西まで
		金剛川水系名古曽川	北端：三重県松阪市飯南郡宮町字小小林地先から北へ 右端：三重県松阪市嬉遊森町字荒蒔から西へ
		金剛川水系西ノ川	北端：三重県松阪市宮川内町字西内から西へ 右端：三重県松阪市宮川内町字小西から西まで
		金剛川水系宮川	北端：三重県松阪市下村町字小西から西へ 右端：三重県松阪市上村町字小西から西へ
		中川水系中川	北端：三重県松阪市乙部町字堀上から西まで 右端：三重県松阪市嬉遊森町字荒蒔から西まで
		大堀川水系大堀川	北端：三重県伊勢市矢持から西まで 右端：三重県伊勢市矢持から西まで
（4）	降雨の強度となる時間	櫛田川水系櫛田川	年間最大1／10(年間平均発生確率10年間の確率雨量)271mm)
		櫛田川水系佐奈川	年間最大1／10(年間平均発生確率10年間の確率雨量)271mm)
		櫛田川水系祓川	年間最大1／10(年間平均発生確率10年間の確率雨量)271mm)
		櫛田川水系孫川	年間最大1／10(年間平均発生確率10年間の確率雨量)232mm)
		阪内川水系阪内川	年間最大1／10(年間平均発生確率10年間の確率雨量)418mm)
		笹笛川水系笹笛川	年間最大1／10(年間平均発生確率24年間の確率雨量)344mm)
		金剛川水系金剛川、鍋谷川、名古曽川、西ノ川、宮川、山下川	年間最大1／10(年間平均発生確率24年間の確率雨量)344mm)
		中川水系中川	年間最大1／10(年間平均発生確率24年間の確率雨量)305mm)
		大堀川水系大堀川	年間最大1／10(年間平均発生確率24年間の確率雨量)349mm)
		下水道等(佐奈川排水区)	年間最大1／10(年間平均発生確率24年間の確率雨量)251mm)
		下水道等(孫川排水区)	年間最大1／10(年間平均発生確率1年間の確率雨量)90mm)
		下水道等(阪内川排水区)	年間最大1／10(年間平均発生確率1年間の確率雨量)89mm)
		下水道等(櫛田川排水区)	年間最大1／10(年間平均発生確率24年間の確率雨量)234mm)
		下水道等(中川排水区)	年間最大1／10(年間平均発生確率1年間の確率雨量)91mm)
		下水道等(祓川排水区)	年間最大1／10(年間平均発生確率1年間の確率雨量)93mm)
		下水道等(櫛田川排水区)	年間最大1／10(年間平均発生確率66年間の確率雨量)112mm)
		下水道等(大堀川排水区)	年間最大1／10(年間平均発生確率1年間の確率雨量)87mm)
（5）	河道等条件	現況(河道・洪水調節施設・下水道施設)	
（6）	勘案事項	佐奈川、伊勢川、明和川、多気川	
（7）	その他計算条件等	①この検討、全国河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一級・二級河川)・下水道等(祓川川、笹笛川川、各種排水路)で氾濫・流出した場合の浸水解析図を設定しています。 ②この検討、管理対象区の河川の何にかかると思に対して、一定の条件で設定・検討させた上での氾濫解析を実施用を基に作成したものです。 ③氾濫解析は、対象流域を点とその氾濫域の格子(計算メッシュ)に分割、これを1年分として氾濫計算しているため、堤地盤による影響が反映できない場合があります。 ④洪水浸水区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の最大浸水深を算出し、同様する計算メッシュとの氾濫域や微細な地盤(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して除外しています。	

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。



凡 例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.3m未満の区域
- 0.3m～0.5m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 1.0m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川・水位周知河川

位 置 図

この地図の作成に当たっては、三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合発行の「2017三重県共有デジタル地図」を使用した。（承認番号 三総合地第１３号）